

10

Public Information

平成30年(2018)

October



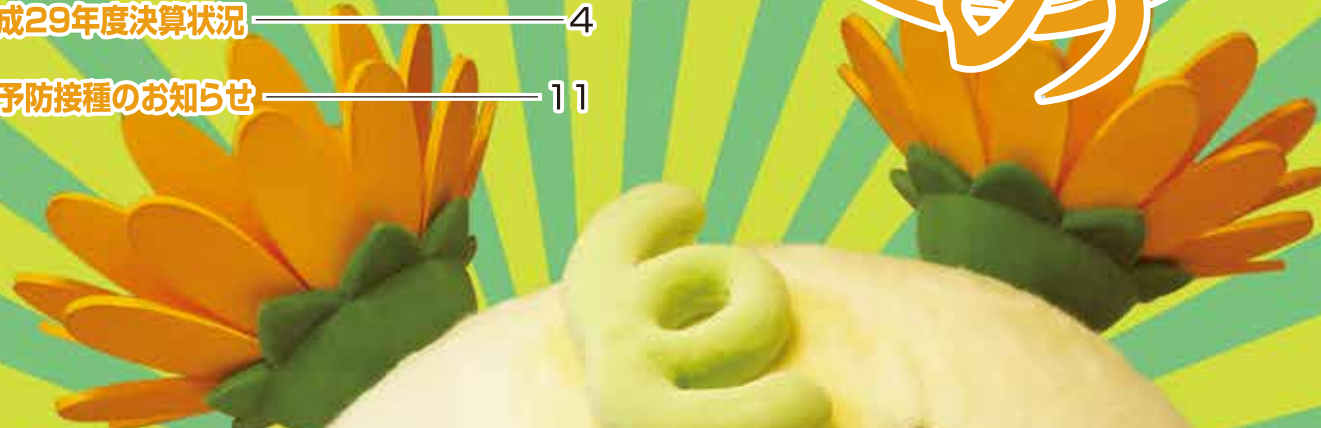
TOPICS

- 特集 犯罪捜査のプロに聞きました
～オレオレ詐欺など各種特殊詐欺について～ — 2
- 特集 平成29年度決算状況 — 4
- 高齢者の予防接種のお知らせ — 11

広報



曲がりくねって、
ただいま。



**ゆるキャラグランプリ
2018エントリー中!
(ただいま、第46位!)
とよのんに1日1票
おねがいします!!**



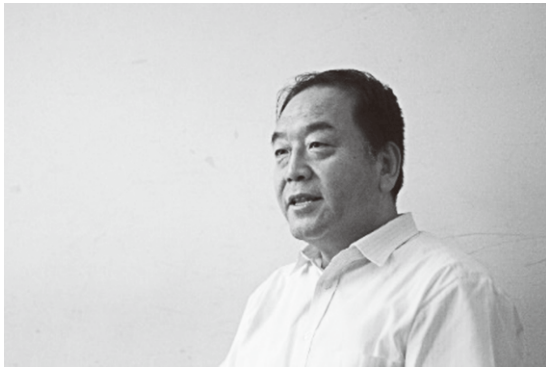
投票はこちらの
QRコードから



犯罪捜査のプロに聞きました！ オレオレ詐欺など各種特殊詐欺について

最近、豊能町内では既遂・未遂を問わずオレオレ詐欺を中心とする特殊詐欺事案が多発しています。そこで、まさかの時に被害に遭わないよう特殊詐欺の発生状況や具体的な防犯対策などについて、豊能警察署生活安全課長兼刑事課長と元大阪府警刑事の経歴のある豊能町安全管理専門官にそれぞれお話を聞きました。

豊能警察署生活安全課 寺裏正彦さんに 聞きました！



豊能警察署生活安全課長兼刑事課長 寺裏正彦さん

Q 生活安全課の業務内容を教えてください。

A 防犯・少年非行・ストーカー・DV(家庭内暴力)・悪質商法など住民生

多額の被害発生！

活に直接影響するような身近な問題を
取り扱っています。

Q 最近の特殊詐欺の発生状況はどう
でしょうか。

A 豊能町内では、平成29年中は4件
で400万円、同30年中は、4件で1、
156万円の被害が発生しています。

Q 多額の被害が発生していますね。

A これは被害届があつた分のみです。
と言つても、平成29年・30年ともに
それぞれ70件を超える怪しい電話を認
知しています。これら特殊詐欺は、基
本的に「犯人と被害者が直接的に顔を
あわせない」というのがその特徴です。
Q 犯行手口はどのようなものですか。

巧妙な犯行手口！

A よくあるパターンが、電話で息子

を騙り、「風邪をひいた。声がおかしい。
重要な話があるがまた後で連絡する」
「電話番号が変わった」と嘘を言つて、
翌日に再度電話で「得意先から集金し
た小切手をなくした。今日中に弁償し
ないと解雇される」「職場の同僚を妊
娠させ、今日中に相手の弁護士に示談
金を預けないと裁判を起され、会社
に報告される」、など周囲に相談しに
くい内容の嘘を並べて慌てさせ、一切
考える余地を与えず、冷静な判断をす
る状況を奪ってしまうのが、その手口
です。

Q 冷静な判断をできなくするのは
か。

A そうです。頭の中を真っ白にさせ
て、気を動転させるのです。そして、「す
ぐに家に後輩社員が先方の弁護士にお
金を取りに行つてもらつから必ず預け
て欲しい。これは恥づかしい話なので
誰にも言わないで」とか「宅配便で『衣
類』と書いてすぐに現金を送つて『ま
たは、』とにかく急ぐので、新幹線に
乗つて〇〇駅まで持つて来て」などと
言つて、誰にも相談させないような状
況を言葉巧みに作り出します。

Q 大胆で手が込んでいますね。

A 犯人グループは、役割分担を決め、
電話のかけ役(かけ子)、後輩社員役
や弁護士を騙る現金受取役(受け子)
などが存在します。その上部には反社

会的組織が存在することが多く、現時
点では、西地区の住宅街に怪しい電話
が多くかかっています。

Q 最近では、店員を騙る手口もある
そうですね。

A 犯人も色々と思知恵を働かせます。
このパターンは、家電量販店や百貨店
の店員を騙り、「あなたのクレジットカード
カードが悪用されている。当店から銀
行協会に連絡し、協会職員を自宅に訪
問させるよう手配するので、キャッ
シユカードを渡し暗証番号を伝えて欲
しい。当方で適正に対応する。とにか
く急いで欲しい」などと強引に犯行に
及ぶ場合もありますが、絶対にキャッ
シユカードを預けたり暗証番号を伝え
てはいけません。

Q 手口が多様で巧妙ですね。

A 犯人はとにかく騙して現金を詐取
することしか考えていません。

また、「もつすぐ上場する〇〇社の
株が、あなたのお住いの地域限定で売
られるので名義だけ貸して欲しい。そ
れだけで儲けができるお得な話だ。手
続きは当方に一任して欲しい」と言わ
れるままに了承してしまい、後日、「名
義貸しは犯罪だ。あなたは逮捕される。
逮捕されてもよいのか。弁護士費用と
事務手数料を至急支払って欲しい」な
どと金銭を詐取しようとする手口もあ
ります。

被害防止対策は!?

Q 具体的な被害防止対策を教えてください。

A 怪しい電話があった際は、まずは落ち着いて、家族や警察に相談することです。知らない電話番号には応対しない、または自動着信拒否や録音機能付き電話の利用も対策の一つです。また、家族しかわからない質問(例「ペットの名前、母親の旧姓、電話番号が変わったと言われたら旧番号等」)をしたり合言葉を予め決めておくことです。

「自分に限って大丈夫」という過信は絶対だめで、誰でも被害者になる可能性があります。それを認識することも重要です。そのことが思い込みを回避することにもつながります。

また、新たな防止策として、府警本部は**【おおさか特殊詐欺被害防止コールセンター】**を開設したところです。

Q 概要はどのようなものですか。
A オペレーターが直接電話をかけて府民の皆様にご注意喚起します。これは府警本部が「日本ATMヒューマン・ソリューション株式会社」に業務を委託して実施するものです。

Q 業務内容を教えてください。
A 高齢者宅などへの注意喚起です。警察が犯行グループから押収した名簿に載っていた方およびNTT西日本ハ

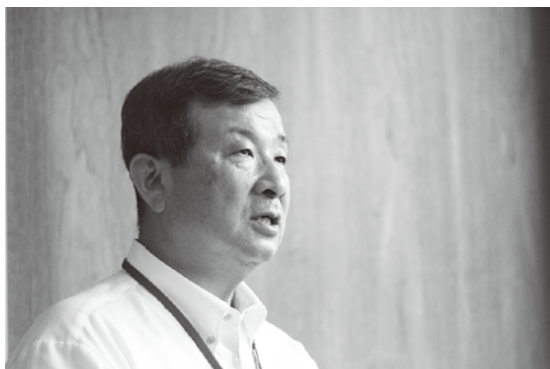
ローページ個人名簿に登録された個人宅が対象です。

Q 運用期間などを教えてください。

A 平成31年3月31日までで、日時は祝祭日・年末年始を除き月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までです。

また、コールセンターの電話で通知される発信者番号は、06-61233-7642です。

豊能町 荒木一郎安全管理専門官 に聞きました!



荒木一郎安全管理専門官

Q 安全管理専門官の業務内容を教えてください。

A 町行政への恫喝・脅迫・強要対策などがメインです。地域での防犯・DV対策関連なども対応します。

Q 特殊詐欺犯罪発生の際、豊能町における特徴、傾向などは何かありますか。

A 町内では、電話で能勢電鉄ときわ台駅横のATM(現金自動預払機)に言葉巧みに誘導することがあります。

これは、同駅付近が通勤・通学の時間帯以外は、車両・人ともに通行量が少なく、人目につきにくい場所になっているからです。また、コンビニに誘導して振り込みをさせるケースもあります。

Q 安全管理専門官から見た本町における効果的な対策はどのようなものか。

A 対策として、住民の方々にお願いしたいことは、周囲に無関心はダメで、平素からの近隣での相互声かけが大切です。そして、近所での見慣れない人物には要注意ですね。また、携帯電話で通話しながらATMを操作している高齢者がいれば積極的な声かけを行ってください。自分たちで自分たちを守るということが重要です。

町としても、豊能町防犯委員会と連携し防犯研修会開催や注意喚起チラシの配布等を実施しています。

また、老人会・福祉関係団体・自治会・その他の集まりなどでご要望があれば、「ミニ防犯出前講座」を行っています。気軽にお声がけください。地道な活動が重要ですね。

【被害防止心得6か条】

- ◆まず落ち着いて、慌てない!
- ◆周囲に相談、独断しない!
- ◆安易に現金を振り込まない!
- ◆現金・通帳・カードを手渡さない!
- ◆「衣類」などと書いて現金を送らない!
- ◆暗証番号やID番号を他人に教えない!

問 住民人権課 ☎739-3402

豊能警察署生活安全課

☎737-1234

豊能警察署管内の特殊詐欺発生状況 (平成30年1月~8月末)

	電話認知件数	被害件数	被害額
豊能町	77	4	11,560,000円
能勢町	28	1	3,000,000円

平成29年度 決算状況 127億9,351万円

(一般会計・特別会計歳出総決算額)

一般会計の決算状況は、歳入総額が68億299万円を除くと、1億3,952万円の黒字万円の増となりました。主たる財源である町006万円、町債が2億5,362万円増加し、依存財源の割合は61%と、50%を超え、厳し一方、歳出は66億5,982万円、前年館の屋上防水改修工事及び小学校トイレ改修

4,233万円、歳出総額が66億5,982万円であり、翌年度に繰越す事業の財源4,233万円となりました。歳入総額は、地方交付税や町債などの増により、前年度より1,563税は18億6,472万円となり、5,315万円の減となりましたが、地方交付税が9,自主財源の割合は、前年度より2.3%減の39.0%となり、国などによる依い財政状況が続いています。度より2,278万円の増となりました。地域防災行政無線整備事業、東能勢小学校南工事を実施したことなどが、増額の主な要因となっています。

基金現在高(まちの預金)

財政調整基金	22億8,796万円
公共施設整備基金	8,654万円
町債管理基金	68万円
文化振興基金	1億2,280万円
退職金等引当基金	6億1,901万円
ふるさとづくり基金	9,718万円
物品調達基金	300万円
介護保険介護給付費準備基金	3億4,813万円
旧吉川財産区基金	1億1,434万円
下水道建設基金	1億1,269万円
下水道債管理基金	4,243万円
土地開発基金	1億3,696万円
合計	39億7,171万円
前年比	+1億2,410万円

※基金現在高は平成30年3月末の額です。

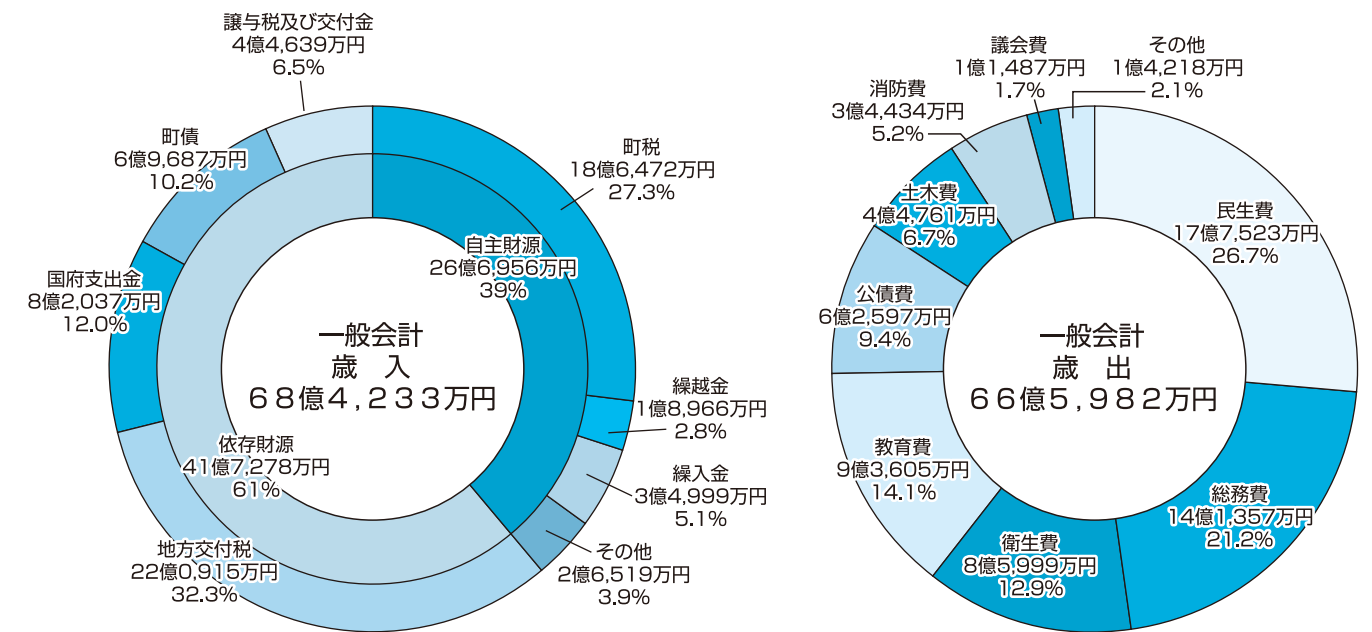
町債現在高(まちの借金)

一般会計	61億5,424万円
下水道事業	17億7,297万円
生活排水処理事業	5,295万円
合計	79億8,016万円
前年度比	△2,127万円

表やグラフの数値は、決算数値を1万円単位で表記しているため、差引額・合計額が合わない場合があります。

会計別決算状況

会計別	歳入額	歳出額	差引額
一般会計	68億4,233万円	66億5,982万円	1億8,251万円
国民健康保険事業勘定	34億7,405万円	32億1,498万円	2億5,907万円
特別会計 診療所施設勘定	8,130万円	6,693万円	1,437万円
後期高齢者医療特別会計	4億6,653万円	4億5,107万円	1,546万円
介護保険特別会計事業勘定	20億7,930万円	19億6,960万円	1億0,970万円
下水道事業特別会計	4億6,787万円	4億3,111万円	3,676万円
合計	134億1,138万円	127億9,351万円	6億1,786万円
前年度比	+2億2,231万円	+2億4,549万円	△2,318万円



財政健全化判断比率

○財政健全化判断比率とは

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、財政健全化指標等を公表することが義務付けられました。指標が基準を超えた場合には、早期健全化計画あるいは財政再生計画を策定し、早急に改善に取り組まなければなりません。豊能町の平成29年度決算に基づく各指標は以下のとおりで、いずれの指標も基準以下となっています。

○健全化判断比率

財政の早期健全化や再生の必要性を判断する4つの財政指標です。(単位:%)

指標	豊能町の数値	国の基準
実質赤字比率 一般会計が、黒字か赤字かを判断する指標	—	15.0
連結実質赤字比率 特別会計・公営企業会計を含めて黒字か赤字かを判断する指標	—	20.0
実質公債費比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実際に負担した公債費の割合を示す指標	6.2	25.0
将来負担比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実質的に負担しなければならない負債を示す指標	—	350.0

※「—」は赤字または将来負担が無いことを表しています。

○資金不足比率

事業の規模に対する資金不足額を、公営企業ごとに示す指標です。(単位:%)

指標	豊能町の数値	国の基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0

※「—」は資金不足が無いことを表しています。

平成29年度に実施した主な事業

地域防災行政無線整備事業	2億8,504万円	ときわ台駅バリアフリー化整備補助事業	765万円
役場本庁舎内の親局から発信された防災情報等を、簡易中継局・再送信子局を経由し、屋外スピーカーや戸別受信機を通じ住民の皆さまに迅速に伝達する設備を整備しました。		ときわ台駅をバリアフリー化(平成30年度整備工事実施予定)するため、鉄道事業者に補助金を交付し、設計業務を実施しました。	
小・中学校施設整備事業	4,682万円	消防分団車両更新事業	642万円
東能勢小学校南館の校舎屋上の防水改修工事を実施しました。また、小学校2校のトイレを一部洋式化し、中学校の普通教室に空調設備を設置しました。		消防ポンプ自動車の老朽化に伴い買い替えを実施しました。寺田分団の団員数を踏まえた少人数で活動できる小型消防ポンプ車を整備しました。	
町制40周年記念事業	928万円	避難所等誘導看板撤去・取替事業	576万円
町制施行40周年記念式典及び関連記念事業(とよのんナンバープレート発行、「出張!なんでも鑑定団 inとよの」(テレビ東京)など)を開催しました。		豊能町地域防災計画との整合を図るため、避難所等誘導看板の取替等を行いました。誘導看板は夜間の視認性に優れた蓄光素材を用いたものを設置しました。	
観光拠点整備事業	867万円	小・中学校教育振興事業	459万円
道の駅の整備、右近の郷の観光の活用について検討を行い、整備イメージを基本構想として整理しました。		小・中学校に大型ディスプレイ、タブレット端末等を整備し、ICT教育の充実を図りました。	
協働による地域ブランド推進事業	783万円	旅券発給事務に係る窓口対応業務事業	215万円
シティプロモーションの取り組みを通じ、ブランドメッセージに対する地域の参画意欲と豊能町に対する愛着や誇りを高めるとともに、メッセージの発信により定住やさらなる地域内外の参画を促しました。		従来、大阪府パスポートセンターで行っていたパスポートの申請及び受取りが池田市役所でも行うことができるようになりました。	

問=行財政課 ☎739-3414

平成29年度 水道事業会計決算状況

平成29年度 豊能町水道事業損益計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (消費税抜き)

費用の部		収益の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
1. 水道事業費用	617,648,098	1. 水道事業収益	588,828,818
(1) 営業費用	574,833,323	(1) 営業収益	400,994,542
イ 原水及び浄水費	133,764,312	イ 給水収益	400,588,692
ロ 配水及び給水費	114,359,222	ロ その他営業収益	405,850
ハ 総係費	40,579,605	(2) 営業外収益	187,834,276
ニ 減価償却費	286,083,084	イ 受取利息	1,417,406
ホ 資産減耗費	47,100	ロ 経別納付金	2,111,000
(2) 営業外費用	42,814,775	ハ 他会計負担金	23,593,174
イ 受託工事費用	0	ニ 他会計繰入金	22,591,053
ロ 支払利息	39,569,386	ホ 長期前受金戻入	136,431,662
ハ 雑支出	3,245,389	ヘ 受託工事収益	28,254
(3) 特別損失	0	ト 財産収入	784,860
イ 過年度損益修正損	0	チ 雑収益	876,867
ロ その他特別損失	0	(3) 特別利益	0
当年度純損失	△ 28,819,280	イ 過年度損益修正益	0
		ロ 固定資産売却益	
合計	588,828,818	合計	588,828,818

※科目および仕分けは地方公営企業法の規定に基づくものであり、一般企業のものとは異なります。

水道事業資本的収入・支出

(消費税込み)

科目		科目	
金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
1. 資本的支出	261,575,146	1. 資本的収入	93,186,573
(1) 建設改良費	58,477,528	(1) 他会計繰入金	47,186,573
イ 改良費	57,704,528	イ 他会計繰入金	47,186,573
ロ 量水器費	17,000	(2) 企業債	46,000,000
ハ 固定資産購入費	756,000	イ 企業債	46,000,000
(2) 企業債償還金	203,097,618	(3) 固定資産売却代金	0
イ 企業債償還金	203,097,618	イ 固定資産売却代金	
合計	261,575,146	合計	93,186,573

※資本的収入額が、資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

平成29年度 豊能町水道事業貸借対照表(平成30年3月31日)

(消費税抜き)

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
1. 固定資産	4,984,020,262	1. 固定負債	2,107,533,481
(1) 有形固定資産	4,288,669,710	(1) 企業債	2,053,420,058
イ 土地	446,896,315	(2) 引当金	54,113,423
ロ 建物	830,612,095	イ 退職給付引当金	54,113,423
ハ 建物減価償却累計額	△ 281,331,181	2. 流動負債	369,331,678
ニ 構築物	5,556,655,434	(1) 企業債	208,306,092
ホ 構築物減価償却累計額	△ 3,065,545,194	(2) 未払金	70,801,549
ヘ 機械及び装置	2,837,285,036	イ 営業未払金	22,839,204
ト 機械及び装置減価償却累計額	△ 2,185,360,310	ロ 営業外未払金	47,962,345
チ 車両運搬具	17,579,990	(3) 引当金	6,528,000
リ 車両運搬具減価償却累計額	△ 14,851,875	イ 賞与引当金	6,528,000
又 工具器具及び備品	36,382,839	(4) 預り金	83,696,037
ル 工具器具及び備品減価償却累計額	△ 27,868,959	イ 営業預り金	2,809,928
ヲ 建設仮勘定	138,215,520	ロ 営業外預り金	80,886,109
(2) 無形固定資産	695,350,552	3. 繰延収益	2,409,793,215
イ ダム使用权	274,948,514	(1) 長期前受金	6,715,669,969
ロ 施設利用権	420,402,038	(2) 収益化累計額	△ 4,305,876,754
2. 流動資産	705,137,014	負債合計	4,886,658,374
(1) 現金預金	672,758,307		
イ 預金	672,758,307	資本の部	
(2) 未収金	32,811,591	1. 資本金	666,704,005
イ 営業未収金	8,442,976	(1) 自己資本金	666,704,005
ロ 営業外未収金	24,368,615	イ 固有資本金	416,204,005
(3) 貸倒引当金	△ 2,862,269	ロ 繰入資本金	250,500,000
(4) 貯蔵品	2,429,385	ハ 組入資本金	
イ 貯蔵品	2,429,385	2. 剰余金	135,794,897
		(1) 資本剰余金	152,914,298
		イ 工事負担金	69,907,576
		ロ 受贈財産評価額	70,806,169
		ハ 国庫補助金	11,531,000
		ニ その他資本剰余金	669,553
		(2) 欠損金	△ 17,119,401
		イ 当年度未処理欠損金	△ 17,119,401
合計	5,689,157,276	資本合計	802,498,902
		合計	5,689,157,276

※科目および仕分けは地方公営企業法の規定に基づくものであり、一般企業のものとは異なります。

※負を意味するものは△表示しています。

問=営業課 ☎ 738-3311